

8 実現した地域再生計画の例(第13回後半認定分)

官民パートナーシップ確立のための支援事業を活用した計画 = 17件 うち変更2件

岡山県里海保全計画【岡山県】

瀬戸内海でも有数の豊かさを誇った備讃瀬戸^{びさんせと}海域も、環境破壊や漁業の衰退といった特に近年は、「目に見えないごみ」といわれる海底ごみが大きな問題となっている。そこで、海ごみ対策の実証事業により海ごみ回収・処理体制を構築するとともに、一般市民向けの体験学習・自然観察会などを通じて人々と海とのつながりを取り戻し、里海保全に取り組む新たな人材育成をすることにより、当海域の諸課題を解決し、持続可能な「里海」づくりを行い、持続的な地域の活性化に繋げる。

<官民パートナーシップ確立のための支援事業>

- (1) 年間の海ごみ回収・処理量 (平成20年度)8t ⇒ (平成23年度)10t(25%増)
- (2) 漁村体験学習・自然観察会の開催 (平成20年度)1回 ⇒(平成21年度)4回(以後継続)



科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムを活用した計画 = 12件 うち変更1件

多文化共生社会の形成を目指した地域形成計画～智の拠点と連動した人材育成及び活用による地域再生～【群馬県】

群馬県では外国人住民の急増により、地域経済の活性化に寄与した一方で、地域住民等との間で「住む」「働く」「学ぶ・育てる」といった各生活領域において様々な課題が生じている。そこで、地域の多様な主体により、地域の生活者として在住外国人の自立と社会参加を協働して支え合う、仕組みづくりが進められてきているが、その一環として、県が群馬大学と連携して、地域や職場にある多文化の現状を的確に把握し、効果的な課題解決の方法を企画し実践する「多文化共生推進士」を養成・認定し、多様な領域での活躍を支援することで、多文化共生による豊かな地域づくりを進める。

<科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム>

○「多文化共生推進士」養成プログラム延べ受講者数 90名(平成25年度)

うち、「多文化共生推進士」の認定 10名

・アナリストコース修了者 21人/プランナーコース修了者 15人

